

令和8年9月29日

お知らせ

課名	農産課
担当	井上、村瀬
内線	3832
直通	086-226-7421

第73回（令和8年度）矢野賞受賞者3名が決定しました

公益財団法人矢野恒太記念会が岡山県内の優秀な青年農業者を表彰する矢野賞について、令和8年度の受賞者が決まりましたので、お知らせします。

記

1 選考基準

県内において農業に従事している青年農業者で、技術水準の高さやイノベーション等により、経営基盤を確立するとともに、青年農業者グループ等の活動に積極的に参画し、地域農業の発展や農村の活性化に努めている者

2 受賞者

氏名	住所	年齢	経営部門
おだ たくみ 尾田 匠見	岡山市東区	42	水稻、麦
うえもり とおる 上森 亨	高梁市	38	酪農
たなべ こうじ 田邊 晃次	津山市	37	水稻、麦、豆類

※年齢は令和8年4月1日現在、経営の概要は裏面を参照

3 贈呈式

- （1）日時：令和8年10月30日（金）11:00～
- （2）場所：第一生命本館6階大会議室（東京都千代田区有楽町1-13-1）
- （3）主催：公益財団法人矢野恒太記念会
- （4）出席予定者：受賞者及び配偶者、岡山県関係者、矢野恒太記念会関係者他

（参考）矢野賞について

郷土出身（岡山市東区^{たけわら}竹原）で第一生命保険株式会社創立者である矢野恒太氏^{やのつねた}（1866～1951年）の業績を顕彰するため昭和28年3月に「財団法人矢野恒太記念会」が設立され、その事業の一つとして「矢野賞」を設け、県内の優秀な青年農業者を表彰している。昭和29年に第1回目の表彰が行われて以来、これまでに72回、236名が受賞している。

第73回（令和8年度）矢野賞受賞者の概要

おだ たくみ
尾田 匠見 (42歳)
岡山市東区



経営内容：水稲、麦 (水稲 80ha、小麦 28ha、大麦 8ha)

平成 20 年に叔父と祖父のもとで就農し、令和 5 年には代表取締役役に就任した。ロボット田植機や収量コンバインなどのスマート農業技術を積極的に導入し、省力化や規模拡大による生産性の向上を追求し、先進的な水田農業経営を実践している。また、パン用小麦栽培に地域に先駆けて取り組み、肥料メーカーや研究機関と連携して専用肥料を開発するなど地域の小麦生産に大きく貢献している。

青年農業者クラブ活動では、西大寺新農業経営者クラブの役員を務め、水田関連のプロジェクト活動に積極的に関わっている。

地域では、水田農家による上南米麦クラブの会長として生産技術や経営者能力の向上に貢献している。また、子どもたちの食農教育や地域子供会陽への支援、樋水門管理員として、地域農業・農村の発展に尽力している。

うえもり とおる
上森 亨 (38歳)
高梁市



経営内容：酪農 (搾乳牛 36 頭、育成牛 24 頭)

農業高校、中国四国酪農大学校を経て、平成 20 年に祖父のもとで就農し、平成 26 年に経営移譲により経営主となった。牛舎の拡張や増設により着実に増頭を進めるとともに、中山間地域の耕作放棄地等を活用した粗飼料の栽培に注力し、現在では全量を自給飼料で賄っている。

青年農業者クラブ活動では、備中緑農会の副会長を長年務めている。また、自身が取り組んだ乳房炎対策のプロジェクトが県大会で最優秀賞を受賞するなど、若手生産者の模範となっている。

地域では、子どもたちの食育活動に尽力するとともに、J Aおからく青年部での活動や高度な経営能力が評価され、令和 7 年度には最年少で J Aおからく理事に就任するなど、県内の酪農業を牽引する重要な役割を果たしている。

たなべ こうじ
田邊 晃次 (37歳)
津山市



経営内容：水稲、麦、豆類 (水稲10.7ha、小麦3.1ha、WCS用稲1.9ha、小豆0.7ha、大豆0.3ha)

農業関連の民間企業や農事組合法人で農業技術を学び、平成 31 年に米麦を中心とした水田農業経営で新規就農した。令和 7 年には経営を法人化し、株式会社いきこと農場を設立した。アイガモロボを活用した特別栽培米の生産、ドローンを活用した防除作業や直播栽培など、新たな技術確立に意欲的に取り組んでいる。

青年農業者クラブ活動では、津山市農業経営者協議会の副会長や、地方協議会の役員として中山間地域の水田農業の課題解決に向け、先導的な役割を果たしている。

地域では、一般社団法人 L A アライアンスを若手農業者と共同で立ち上げ、地域農業の持続可能な仕組みづくりに尽力している。また、上加茂地区自治協議会のメンバーとして農村型地域運営組織（農村 RMO）の設立、運営を主導し、地域農業・農村の発展に大きく貢献している。